

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	みぶブランド認定 事業者促進事業	総事業費	1,000,001	1,000,005	1,001,000	750,000	750,000	4,501,006
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	4,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
2	壬生お殿様料理促 進事業	総事業費	533,921	1,200,005	1,201,000	1,000,000	750,000	4,684,926
		うち市町支出額	500,000	1,200,000	1,200,000	750,000	500,000	4,150,000
		うち県交付金	250,000	600,000	600,000			1,450,000
3	国際観光推進事業	総事業費	751,180	750,000	751,000	500,000	500,000	3,252,180
		うち市町支出額	750,000	750,000	750,000	500,000	500,000	3,250,000
		うち県交付金	375,000	375,000	375,000	0	0	1,125,000
4	壬生まちなか創生 事業	総事業費		1,000,006	1,001,000	1,001,000	751,000	3,753,006
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	750,000	3,750,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
5	おもちゃのまち創 生事業	総事業費		1,000,006	1,001,000	1,001,000	751,000	3,753,006
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	750,000	3,750,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
6	壬生町情報発信拠 点推進事業	総事業費		2,400,008	2,401,000	2,401,000	2,401,000	9,603,008
		うち市町支出額		2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	9,600,000
		うち県交付金		1,200,000	1,200,000	612,936	0	3,012,936
7	みぶの日開催事業	総事業費		600,001	600,000	600,000	600,000	2,400,001
		うち市町支出額		600,000	600,000	600,000	600,000	2,400,000
		うち県交付金		300,000	300,000	0	0	600,000
8	郷土の偉人顕彰作 業	総事業費		2,793,324	2,800,000	2,800,000	3,000,000	11,393,324
		うち市町支出額		2,793,324	2,800,000	2,800,000	3,000,000	11,393,324
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
9	第18回全国藩校サ ミット壬生大会	総事業費	13,826,235					13,826,235
		うち市町支出額	5,801,845					5,801,845
		うち県交付金	2,900,922					2,900,922
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	16,111,337	10,743,355	10,756,000	10,053,000	9,503,000	57,166,692
		うち市町支出額	8,051,845	10,743,324	10,750,000	9,550,000	9,000,000	48,095,169
		うち県交付金	4,025,922	4,975,000	4,975,000	2,612,936	0	16,588,858

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶブランド認定事業者促進事業
事業主体の名称	みぶブランド認定事業者協議会
代表者の名称	会長 戸崎 裕司
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:みぶブランドの認知度向上を図る。 ・設立年月日:令和3年4月27日 ・構成員等:戸崎農園(株)、侘天志古商店、就労支援むつみの森他17事業者
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者の個別展開はあるものの、みぶブランドとしての統一的な対外PR、その他活用が不十分な状況である。 ・コロナウィルスの影響、後継者不足に伴い、苦境に立たされている事業者も少なくない。
事業目的	みぶブランドのPR等により、新たな販路開拓と壬生町の認知度向上を図るとともに、町内にあっては新たな壬力(魅力)の掘り起こしと、事業者による新たな事業展開や製造量増加につなげる。
事業概要	<p>本年度は、持続可能なみぶブランドの情報発信をすべく、紙資源と印刷費の低減、及びタイムリーな更新が可能で、掲載情報量の自由度が効くWeb上へと情報発信拠点を移行すべく、新たな販売促進冊子を作成した。</p> <p>また、「お殿様土産」や「お姫様料理」とも連携して、壬生ならではの歴史をモチーフにした販促活動の展開し、ふるさと納税額の向上等に努めるために、首都圏を中心とした観光イベントや鉄道会社が企画運営するイベント等へ参加し、プローション活動を展開した。</p> <p>来年度以降は、効果的なSNSの活用に関する研修、及び自主運営への移行について準備を進めることとしたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI:地域ブランド品目認定数 現状31件(H30) → 目標40件(R7)【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗、パンフレット等作成 ・イベント出店等 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売促進冊子作成 ・ブランド品パネル等作成 ・SNS発信力強化事業 ・各種販促イベント参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売促進冊子作成 ・ブランド品パネル等作成 ・SNS発信力強化事業 ・各種販促イベント参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット更新 ・各種販促イベント参加
事業費	1,000,001	1,000,005	1,001,000	3,001,006	750,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1	5	1,000	1,006	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶブランド認定事業者促進事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,000,000	
雑入	5	預金利子等
計	1,000,005	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 印刷製本費	792,845	792,840	396,420	5	販促冊子作成、ポスター作成、ブランド紙袋作成
2. 消耗品費	77,270	77,270	38,635	0	販促イベント参加関係経費
3. 使用料	30,000	30,000	15,000	0	会場使用料?
4. 旅費	50,390	50,390	25,195	0	販促イベント参加旅費
5. 広告費	49,500	49,500	24,750	0	とちテレ「壬生特集」番組作成広告費
計	1,000,005	1,000,000	500,000	5	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生お殿様料理促進事業
事業主体の名称	壬生お殿様料理促進の会
代表者の名称	会長 鈴木浩
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理:壬生藩鳥居家に伝わる御献立帳を基に、歴代藩主(お殿様)が食した献立を復刻、もしくは現代風にアレンジした料理 ・団体の目的:壬生藩鳥居家三万石のお殿様料理の認知度向上 ・設立年月日:令和3年4月22日 ・構成員等:日本料理旬香、割烹いしかわ、割烹山水亭他4店舗
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理について、一定の格式高さを確保しつつも、多くの人に、数多く味わっていただくための機会創出が不十分である。 ・町民における、料理自体、及びお殿様料理に繋がる壬生藩の歴史に関する認知度が不十分である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理等の販売により、壬生町の豊かな自然と医食同源の歴史を現代風にアレンジ等の上、町内外に壬生の歴史をPRすることで、観光客等の交流人口を増加させる。 ・様々な食材の活用、特徴的な容器の作成、及び広報宣伝活動等を通じて、町内事業者の連携及び町外事業者との取引等を通じた関係人口の増加を図る。
事業概要	<p>本年度は、各種事業においてインフルエンサーを活用したマスコミ、SNS等を利用したPR活動(情報ライター発信事業)として「なでしこプロジェクト」を実施した。</p> <p>また、県等が主催する首都圏等でのイベントが本格化したこと、本年度オープンした壬生町東京サテライトオフィスでのPRが可能となったことなどから、ポスター、パンフレット及びのぼり旗の作成を進めた。</p> <p>さらに、コロナ禍の収束状況を鑑み、鳥居家が壬生、栃木にもたらしたかんびょうを使用した「サビカン」プロモーションの実施準備を行っている。(R5年度実施予定)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI:地域ブランド品目認定数 現状31件(H30) → 目標40件(R7)【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理作成事業 ・パンフレット、のぼり旗作成 ・各種イベント参加 ・情報発信ライター事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作成 ・パンフレット増刷 ・プロモーションイベント開催準備 ・各種イベント参加 ・情報発信ライター事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信力強化事業 ・プロモーションイベントの開催 ・各種イベント参加 ・情報発信ライター事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信力強化事業 ・タイアップイベントの開催 ・各種イベント参加
事業費	533,921	1,200,005	1,201,000	2,934,926	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	1,200,000	1,200,000	2,900,000	750,000
うち県交付金	250,000	600,000	600,000	1,450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,921	5	1,000	34,926	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	壬生お殿様料理促進事業
-------	-------------

対象年度	4	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,200,000	
雑入	5	預金利子等
計	1,200,005	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
1. 印刷製本費	610,060	610,060	305,030	0	ポスター、パンフレット、のぼり旗、観光ビニール袋作成
2. 委託料	399,264	399,264	199,632	0	なでしこプロジェクト(インフルエンサー)委託料 プロモーションイベント開催準備委託料 お姫様料理内容検討経費
3. 消耗品費	56,006	56,006	28,003	0	販促イベント等開催経費
4. 旅費	67,175	67,170	33,585	5	販促イベント、インフルエンサー等出張旅費
5. 負担金	67,500	67,500	33,750	0	販促イベント関係負担金
計	1,200,005	1,200,000	600,000	5	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	国際観光推進事業
事業主体の名称	壬生町国際観光推進協議会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: インバウンド観光への各種対応を官民一体的に展開し、本町国際観光の推進を図る。 設立年月日: 令和2年3月18日 構成員等: 観光協会長、商工会長、おもちゃ博物館長、ホスピタルイン獨協医科大学支配人、東武鉄道榊原駅長等
当該事業に係る地域の現状と課題	本町ではインバウンド観光への対応として、観光パンフレット及び観光協会HPの多言語対応や多言語化表記看板の設置等の基盤整備、単発的な観光PRイベント等は行ってきたが、継続可能で魅力的な商品としての観光ツアーの開発がほとんど進んでいない。(行政による基盤整備は進めども、民間によるツアー商品等の開発・提供は進んでいない)
事業目的	本物の出会い栃木DCで養った観光経験をDレガシーとして、インバウンド観光への対応と多言語化対応によるおもてなしの向上を官民一体となって展開し、本町国際観光を推進する。
事業概要	<p>本年度も引き続き、観光資源を活用した、ツアー商品の磨き上げとして外国人観光客に嗜好される体験型モニタリングツアーとして、日光街道や歴史的観光資源をモチーフとした「金谷ホテル日光で藍染体験を行い、藍とかんぴょうと金谷ホテルの伝統を食す」ツアーを開催した。</p> <p>外国人モニターの他、マスコミ関係者、旅行業者等を招待し、実施した また、その様子は動画、画像撮影し、町観光協会のSNS等を通じてプロモーションを図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドに対応した観光振興を図ります。 KPI: みぶハイウェーパーク来訪者数 現状(R元)2,117,509人 → 目標(R7)2,500,000人 【R3実績 1,489,198人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアー開発事業 多言語化表記看板設置 	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアー開発事業 プロモーション動画作成 	<ul style="list-style-type: none"> 各種プロモーション活動 パンフレット等更新 		
事業費	751,180	750,000	751,000	2,252,180	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	750,000	750,000	750,000	2,250,000	500,000
うち県交付金	375,000	375,000	375,000	1,125,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,180	0	1,000	2,180	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国際観光推進事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	750,000	
雑入	0	
計	750,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 印刷製本費	1,000	1,000	500	0	コピー代金
2. 消耗品費	36,670	36,670	18,335	0	モニタリングツアー開催経費等
3. 委託料	509,550	509,550	254,775	0	モニタリングツアー開催経費等
4. 使用料	147,000	147,000	73,500	0	会場使用料?
5. 広告費	49,500	49,500	24,750	0	とちテレ「壬生特集」番組作成広告費
6. 旅費	6,280	6,280	3,140	0	
計	750,000	750,000	375,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生・まちなか創生事業
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	会長 水井正行
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:旧城下町壬生を中心とした「壬生まちなか」の活性化 ・設立年月日:平成29年6月 ・構成員等:商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>ロードサイドの発展とは裏腹に、旧市街地である壬生地区では空き店舗等が年々増加し、いわゆるシャッター商店街化が進んでいる。また、城下町ならではの魅力を発信しきれておらず、若年層の壬生離れが進んでいる。</p>
事業目的	<p>城下町壬生の魅力を発揮し、周遊観光の増進の下、「商店街の活性化」と「街の担い手確保」を推進する。</p>
事業概要	<p>①まちなかでの経営可能性の確認、地域との人脈作り、そして空き店舗等の活用へと繋げるために、各種イベント開催等を実施した。</p> <p>A「壬生流ふくべたちのハロウィンイベント」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内外飲食店舗の臨時出店を募り、まちなかにおけるお試し出店を経験頂き、出店に向けた人脈作りに努めた。 ・空事務所、寺を活用し、空家等の利用可能性を提示した。 ・イベント開催をきっかけとし、ワーキングメンバーにて、空家、空き店舗等の実態把握と周辺事業者との意見交換を始めている。 <p>B「まちなか、国体PRイベント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか店舗敷地、駅地下道等を舞台とした竹あかり作成、ライトアップ及び国体PRを兼ねた音楽イベントを開催した。 ・駐車場としての空地利用、及び演奏者控室用等としてまちなか店舗等を活用して開催した。 <p>C「壬生町城址公園ライトアップ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しののめ桜ライトアップにおける集客を、まちなかへ誘導するために、城址公園において竹あかり、和傘、行灯等にて桜をライトアップした。 ・まちなかの桜スポットを掲載した街歩きマップを改訂した。 <p>D・とちテレ年末特集番組作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃのまちと城下町をモチーフとした壬生特集を放映頂き、壬生まちなかのPRを実施した。 <p>②空家等の利用に関して、鹿沼市、新潟県見附市等研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外については、事務局における道の駅研修費用を活用し、視察を行った。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、地域商業の育成や経営の持続化などの施策を推進します。 ・KPI:壬生ブランド認定品目数 現状(H31)30件 → 目標(R7)45件 【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗活用推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗活用推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗活用推進事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗活用推進事業
事業費	1,000,006	1,001,000	1,001,000	3,002,006	751,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	750,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	1,000	1,000	2,006	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生・まちなか創生事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,000,000	
雑入	6	預金利子等
計	1,000,006	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
1. 旅費	0	0	0		・空き店舗活用先進地視察研修旅費については、他資金を活用して実施
2. 消耗品費	379,791	379,790	189,895	1	・空事務所、観光施設を活用したまちなかイベント等経費
3. 印刷製本費	102,500	102,500	51,250	0	
4. 手数料	0	0	0	0	・空き店舗活用先進地視察研修(受講料)
5. 広告料	49,500	49,500	24,750	0	・とちテレ特番関係経費
6. 保険料	10,015	10,010	5,005	5	・空事務所、観光施設を活用したまちなかイベント等経費
7. 委託料	38,000	38,000	19,000	0	・空地等を活用したまちなかイベント等経費
8. 使用料及び賃借料	30,000	30,000	15,000	0	・空事務所、観光施設を活用したまちなかイベント会場使用料
9. 工事請負費	329,200	329,200	164,600	0	・観光施設を活用したまちなかイベント ライトアップ工事費
10. 負担金	61,000	61,000	30,500	0	・観光施設を活用したまちなかイベント ライトアップ工事費
計	1,000,006	1,000,000	500,000	6	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち創生事業
事業主体の名称	おもちゃのまち遊々創生ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	・団体の目的:おもちゃのまち地区の活性化 ・設立年月日:平成30年7月 ・構成員等:商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃ工場の集積地であるおもちゃ団地を中心に形成されてきた「おもちゃのまち」であるが、工場の海外移転等による空洞化や、地区内においては高齢化が進むほか、駅周辺の旧中心市街地の商店街では衰退化が進んでいる。
事業目的	全国でただ一つ「おもちゃの博物館」が2つ(壬生町立おもちゃ博物館、おもちゃのまちバンダイミュージアム)立地し、全国的にも珍しい町名として認知されつつある「おもちゃのまち」の魅力を発信する中で、中心市街地の活性化を図る。また、近年隣接地で展開されている六美町北部土地区画整理事業に伴う新たなまちづくりとの連携によって、誘客促進等を図る。
事業概要	①大型商業施設への集客をまちなかへ誘導する施策として、収束しきらないコロナ禍の状況も踏まえ、下記を実施した。 ・おもちゃのまち地区の飲食店利用増進を目的とし、一方で材料費高騰による価格改定や、コロナ禍等による店舗の廃・開業が目立ったことを踏まえ、うまいものMAPの修正、増刷を行った。 ・とちテレ年末特集において、おもちゃのまちと城下町をモチーフとした壬生特集を放映頂き、おもちゃのまちのPRに努めた。 ・大型商業施設における、販売用テレビでのおもちゃのまちPR画像等の放映について、先方に提案を行った。町観光協会員担で、画像集を取りまとめ、提供予定となっている ・本年度、おもちゃのまちに設置された2基のガンダムマンホールをきっかけに、まちなか店舗等においておもちゃのまちらしい展示を進め、まちなかへの誘客をすすめるべく、栃木銀行おもちゃのまち支店においておもちゃ等の展示を行った。 ②「おもちゃづくりを通じて子どもの夢を作り続けたおもちゃのまちは、夢を追い続ける人たちを応援する街」だと定義づけ、おもちゃのまちの担い手を中心とした魅力ある人物をクローズアップしたPR動画「ユメビト」を2本(1本は2本相当のボリューム)作成し、webやsnsを活用して情報発信を行っている。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	・商工会と連携し、地域商業の育成や経営の持続化などの施策を推進します。 ・KPI: 壬生ブランド認定品目数 現状31件(H30) → 目標40件(R7) 【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・「ユメビト」発信事業 ・誘客策検討、実践事業	・「ユメビト」発信事業 ・誘客策検討、実践事業	・「ユメビト」発信事業 ・誘客策検討、実践事業		・「ユメビト」発信事業 ・誘客策検討、実践事業
事業費	1,000,006	1,001,000	1,001,000	3,002,006	751,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	750,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	1,000	1,000	2,006	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	おもちゃのまち創生事業
-------	-------------

対象年度	4
------	---

年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,000,000	
雑入	6	預金利子等
計	1,000,006	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	10,456	10,450	5,225	6	1. 六美町北部地区からの回遊性向上を図る活動経費 ・栃銀ディスプレイ費
2. 印刷製本費	185,900	185,900	92,950	0	1. 六美町北部地区からの回遊性向上を図る活動経費 ・うまいものマップ印刷費
3. 旅費	3,380	3,380	1,690	0	
4. 広告費	49,500	49,500	24,750	0	1. 六美町北部地区からの回遊性向上を図る活動経費 ・栃テレ特番
5. 委託料	750,000	750,000	375,000	0	2. PR動画2本作成 (内1本は2本相当)
6. 手数料	770	770	385	0	振込手数料
				0	
計	1,000,006	1,000,000	500,000	6	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
 連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。
 1 市町のみで事業を実施する場合
 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町情報発信拠点推進事業
事業主体の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会
代表者の名称	会長 矢川 己三男
事業主体の所在	壬生町大字国谷1870番地2
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 道の駅みぶのイベント情報、町からの事務連絡、各店舗からの情報などを共有し、円滑な施設運営や各施設の連携を図り、道の駅みぶの賑わい創出を实践する。</p> <p>・設立年月日: 平成31年4月1日</p> <p>・構成員等: ㈱みぶの路代表、㈱YELL代表、㈱みぶのやおやさん代表、㈱ケーキハウスヒガノ代表、ストロベリーファーム代表、みらい館代表、栃木県民公園福祉協会、町施設振興公社、町商工会、町</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>道の駅みぶはみぶハイウェーパーク、とちぎわんぱく公園、壬生町総合公園、壬生町おもちゃ博物館からなる施設であり、高速道路に面したみぶハイウェーパークには、町内20社で構成された法人等による売店、町内飲食業者による食堂、町内生産者で多くの農産物を販売している農産物直売所、町内パティシエによるフルーツバーラーがあり、壬生町の特産品等の販売の拠点となっている。</p> <p>しかしながら、高速道路のPAとしての利用者にとっては、観光目的地への道中の立ち寄り所としての利用であるため、道の駅みぶの認知度が低く感じられる。</p> <p>また、道の駅みぶには、おもちゃ博物館やわんぱく公園等1日遊べる施設があるため、単なる立ち寄り場所ではなく観光目的地としてPRしていくために、道の駅の玄関口であるみらい館からおもちゃ博物館やわんぱく公園へ誘導するような、各施設と連携したイベントを実施する必要がある。</p>
事業目的	壬生町の産業振興、文化振興及び地域の活性化を推進すると共に町民相互の交流や来訪者への情報提供等を促進するための拠点施設として積極的にPRをし、認知度を高め、観光客入込数の増加や道の駅みぶの賑わい創出を図る。
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p>【1-d】参加・交流型</p> <p>令和元年度から2年度の栃木県わがまち未来創造事業では、4つの施設からなる「道の駅みぶ」全体の認知度を高めることを目的としていたが、現在、高速道路の玄関口である「みぶハイウェーパーク」のみ来客者が多い状況である。令和4年度からの栃木県わがまちつながり構築事業では、新たに「道の駅みぶ」各施設の連携を強化するイベントを開催し、「みぶハイウェーパーク」から他の施設への人の流れを作り、「道の駅みぶ」全体の来訪者数をさらに増加させ、関係人口の拡大を目指す。</p> <p>①賑わい創出イベント開催</p> <p>・道の駅みぶ来場者向上のためかんびょうの展示(R4.7~8月)、AR技術を利用したバーチャルワールド in 道の駅みぶ(R4.11~R5.2月)、壬生町に設置されたガンダムマンホールのレプリカの展示(R4.10月~)、シルバニアファミリーモニュメント設置イベント(R5.3.25)を開催し、来場者の向上及び滞在時間の拡大を図った。</p> <p>②連携イベント開催</p> <p>・とちぎわんぱく公園で行われるトマトのマルシェ(R4.5.29)にみぶハイウェーパークで営業する事業者が参加しトマトすくいやトマトの直売等の連携イベントを実施し、みぶハイウェーパークからとちぎわんぱく公園、壬生町総合公園、おもちゃ博物館への誘導を図った。</p> <p>③PR活動</p> <p>・新聞折り込みチラシや道の駅パンフレットの作成による道の駅のPRを行った。</p> <p>・WebサイトやSNS(インスタグラム)を利用し、道の駅みぶの情報発信を行った。</p> <p>【令和5年度~】今年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しい人の流れをつくる。</p> <p>【数値目標】みぶハイウェーパーク来訪者数 2,261,397人(H30)→2,500,000人(R7) 【R3実績 1,489,198人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動		①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動
事業費	2,400,008	2,401,000	2,401,000	7,202,008	2,401,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,400,000	2,400,000	2,400,000	7,200,000	2,400,000
うち県交付金	1,200,000	1,200,000	600,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	8	1,000	1,000	2,008	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課みらい館係
担当者名	矢川 己三男
電話	0282-82-3591
連絡先 FAX	0282-82-3593
E-mail	miraikan@bz03.plala.or.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町情報発信拠点推進事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	決算額	備考
町補助金	2,400,000	
雑入	8	利息等
計	2,400,008	

2 支出の部

科目	決算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	115,460	115,460	57,730	0	シルバニアファミリーイベント 販促ギフトカード、来賓昼食、 出演者報償
消耗品	234,566	234,566	117,283	0	イベント消耗品(トマトすくい 用ミニマト(トマトすくい用お 玉、展示用かんぴょう、事務 用品等)
印刷製本費	1,434,950	1,434,950	717,475	0	イベント用チラシ パンフレット作製
広告費	132,220	132,220	66,110	0	栃ナビ広告掲載
委託料	224,950	224,950	112,475	0	駐車場警備
通信運搬費	4,312	4,304	2,152	8	HPドメイン使用料
使用料	253,550	253,550	126,775	0	バーチャルワールド使用料
予備費	0	0	0	0	
				0	
				0	
計	2,400,008	2,400,000	1,200,000	8	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生甲3841-1
事業主体の概要	・団体の目的: 毎年3月2日「32(みぶ)の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する ・設立年月日: 平成27年12月 ・構成員等: 社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JALもつけ壬生地区営農経済センターなど
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれない状況が続いていることから、毎年3月2日「32(みぶ)の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町を訪れた方に「ちょっと関わりたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、北関東周辺の関係人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	【令和4年度】 事業名称: みぶの日フェア【I-d】参加・交流型 開催日: 令和5年3月5日(日) 開催場所: みぶハイウェイパークみらい館(道の駅みぶ) 壬生町では、3月を壬生町PR月間に位置付け、その核となる3月2日を「みぶ(32(みぶ))の日」として、町の活性化を図っている。特に、3月第1週の日曜日を「みぶの日フェア」として、壬生町の魅力を町内外の方に感じてもらうため各種イベントを開催し、関係人口の拡大を目指す。令和5年3月5日(日)に下記のとおり実施した。 ①各種ステージイベント: 壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供: 特産「かんびょう」を使ったカミナリ汁、特産「みぶ菜」を使ったオリジナル料理など ③町特産品の販売: 特産物(いちご・トマト等)の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の展示・販売など ④町の歴史・文化の紹介: 壬生町の歴史・文化財紹介など ⑤体験コーナー: かんびょうボウリング、缶バッチづくりなど ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売: 群馬県のお山焼焼き、焼きまんじゅう、茨城県の自然薯だんご、ジャンボつくねの提供など ⑦観光ロゲイニング大会とタイアップした町のPR活動など ⑧持続可能な社会の実現に向けた、町内企業のPR活動の場の提供など 【令和5年度】 前年度を顧みて、継続的に実施
事業に係る中町総合戦略の目標及びKPI	第2期壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30)→3,895,496人(R7) 【R3実績 2,227,746人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR		①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロゲイニングとのタイアップ ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR
事業費	0	600,001	600,000	1,200,001	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	0	600,000	600,000	1,200,000	600,000
うち県交付金	0	300,000	300,000	600,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	1	0	1	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課企画調整係
担当者名	黒澤 俊広
電話	0282-81-1813
FAX	0282-28-6718
E-mail	sougo@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶの日開催事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	600,000	町補助金
利息	1	利息
計	600,001	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託費	555,500	555,500	277,750	0	会場設営、ステージ運営、音響、出演者調整(@511,500円) 駐車場整理(@22,000円×2名)
印刷製本費	31,498	31,498	15,749	0	ポスター(@598.9円×30枚) チラシ(@45.1円×300枚)
食糧費	4,200	4,200	2,100	0	出演者用弁当代
消耗品費	8,803	8,802	4,401	1	感染対策消耗品、ウエルカム企画配付物等
				0	
				0	
				0	
				0	
計	600,001	600,000	300,000	1	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	郷土の偉人顕彰作業
事業主体の名称	「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会
代表者の名称	会長 寺内 進
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「郷土の偉人」を顕彰する展示会等を開催し、その普及を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和4年5月7日</p> <p>・構成員等:教育長、大学講師、壬生論語古義塾生、壬生ロータリークラブ、壬生町観光ボランティア</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から「郷土の偉人顕彰作業」を実施し、これまで「郷土の偉人」や「藩校」、「論語」といった壬生ゆかりの歴史を見出し、発信を行ってきた。これらの成果は観光や地域づくり等の「まちづくり」のほか、管内の学校教育現場にも取り入れられ、「人づくり」にも貢献してきた。</p> <p>幅広い世代に地域の歴史や魅力を浸透させることは難しく、今後も引き続きこれらの取組を継続して実施することにより、壬生という地域の特色を多くの町民に発信する必要がある。</p>
事業目的	<p>「郷土の偉人顕彰作業」を行い、その結果を企画展や講演会で発表し、住民が地域に誇りと愛着を持てるよう啓発する。また、壬生藩主の『献立帳』を元にした展示や講演会を町外に向けて発信することで、壬生町の『参加交流型』の関係人口の創出を図る。</p>
事業概要	<p>(1)当該年度の実施内容</p> <p>平成29年度から令和元年の栃木県わがまち未来創造事業では、「郷土の偉人顕彰」や「論語大朗読」などの事業を実施し、壬生藩や壬生という地域の特色の発信を通じて、「シックプライド」の醸成を図ってきた。令和4年度からの事業においては、壬生藩や鳥居家に関する事業を実施し、壬生のシックプライドのなかで重要な位置を占める旧市街地(旧城下町)の活性化に寄与するとともに、参加・交流する関係人口の拡大を図る。</p> <p>令和4年度は近年発見された壬生藩主の『献立帳』を題材とした事業を行った。</p> <p>①企画展「大名家の献立 ー文化二年壬生御献立帳ー」の開催</p> <p>・会期:令和4年11月5日～12月18日</p> <p>・場所:壬生町立歴史民俗資料館</p> <p>・内容:近年発見された壬生藩鳥居家四代忠熹の『文化二年御献立帳』を題材に、記録に残された大名や将軍の献立を中心に紹介した。さらに、壬生を代表する特産物「干瓢(かんぴょう)・牛蒡(ごぼう)」にまつわる資料を併せて展示した。</p> <p>②関連講演会</p> <p>企画展に関連する講演会および「鳥居忠熹献立」の再現講座を開催した。</p> <p>【関係人口】I-d 参加・交流型</p> <p>・下記の新規取組を通じて、壬生の歴史のなかの「食」を紹介するとともに、現代の「お殿様料理・お姫様料理」、特産品(みぶブランド)などと連携し、相互に地域の魅力を発信することで町内外からの人の流れを創出し、関係人口の増加を図る。</p> <p>【事業の新規性】</p> <p>(過去の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展の実施 企画展関連講演会の実施 壬生町民「1000人」の論語大朗読 -ギネス世界記録に挑戦- <p>(新規取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は郷土の偉人にまつわる「食」をテーマとする。これによってこれまでと違った地域の魅力を紹介するほか、江戸時代の地域の特産物などを取り上げることを通じて、現在も生産されている町の特産物・特産品のPRにも寄与する。 大名の食を研究している栄養学の有識者を講師に、将軍・大名の献立を再現する講座(ワークショップ)を開催し、試食等も行うことにより、歴史のなかの「食」を通じた地域の魅力に触れてもらう。 観光部局において、町内の飲食店等と連携しながら、壬生藩主の献立帳を題材にした「お殿様料理・お姫様料理」の取組を実施しており、歴史的な「お殿様料理」と現代に再現した「お殿様料理」の相互の魅力を発信することで、新たな人の流れを創出する。 <p>(2)翌年度以降の取組</p> <p>翌年度以降も事業目的に沿った企画展等を開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】壬生町創生総合戦略2. 壬生町に新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】観光客入込数 H30 3,709,996人→R7 3,895,496人【R2実績 2,227,746人】</p> <p>【KPI】ホームページアクセス数 R1 36,283件/月→R7 40,000件/月【R3実績 59,702件/月】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①企画展「大名家の献立 ー文化二年壬生御 献立帳ー」の開催 ②関連講演会の開催	企画展(大名家関連企 画展予定)	企画展(大名家関連企 画展予定)		武者行列再興事業
事業費	2,793,324	2,800,000	2,800,000	8,393,324	3,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,793,324	2,800,000	2,800,000	8,393,324	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	壬生町立歴史民俗資料館 学芸係
担当者名	仲沢
電話	0282(82)8544
FAX	同上
E-mail	rekimin@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	郷土の偉人顕彰作業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	決算額	備考
町補助金	2,800,000	町補助金
戻入	-6,676	
計	2,793,324	

2 支出の部

科目	決算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	100,000	100,000	30,000	0	講演者謝金(鎌谷かおる氏、湯川晴美氏、日本料理篠)
旅費	74,204	74,204	0	0	資料集荷・返却等
印刷製本費	1,199,770	1,199,770	470,000	0	企画展図録(500部)・ポスター(200枚)・チラシ(3,000枚)
通信運搬費	970,000	970,000	400,000	0	資料集荷及び返却、保険等
委託料	449,350	449,350	100,000	0	展示のディスプレイ(パネル、キャプション、設営)制作
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,793,324	2,793,324	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合